

対モザンビーク共和国 事業展開計画

2023年 4月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>社会開発及び持続可能な経済成長の推進</p>												
<p>重点分野1 (中目標)</p>	<p>人間開発・社会開発</p>												
<p>開発課題1-1 (小目標) 人間開発</p>	<p>【現状と課題】 モザンビークでは、経済発展が進む一方、未だ貧困率が高く、保健及び教育分野といった基本的な社会サービスへのアクセスとその質の向上が急務である。 保健に関しては、未だに乳幼児死亡率が高く、母子の慢性的栄養不良やマラリア等感染症対策が国家的課題である中、病院や保健サービスを提供する医療人材や施設及び機材が不足しており、それらの能力向上が不可欠である。 また、教育に関しては、基礎教育対象人口の急増に対し、学校インフラ、教員数の不足が深刻であり、教育レベルや質の向上に資する教育システムの整備が課題である。</p>			<p>【開発課題への対応方針】 開発課題に対して以下の取組を行う。 (1) 保健人材養成機関における母子保健や栄養の改善に向けた人材育成、医療サービス向上のためのインフラ整備、保健医療サービスの質を担保する制度改革支援 (2) 制度設計、指導能力強化及びインフラ整備を通じた基礎教育の改善 上記方針を通じ、持続可能な開発目標2（飢餓）、3（保健）、4（教育）、17（実施手段）等の達成に貢献する。</p>									
	<p>協力プログラム名</p>	<p>協力プログラム概要</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>保健改善プログラム</p>	<p>保健指標の低い地域における母子保健や栄養改善に向け、保健人材育成要請機関での人材育成・医療サービスの向上を支援する。</p>	<p>母子栄養サービス強化プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>	<p>3.00</p>	<p>2,3</p>	
			<p>新型コロナウイルス影響下における母子保健看護サービス強化プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>		<p>3</p>	
			<p>新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>		<p>3</p>	
			<p>病院運営管理</p>	<p>第三国研修</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>		<p>3</p>	<p>於: ブラジル</p>
			<p>マプト中央病院新生児棟建設計画</p>	<p>無償</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>	<p>29.87</p>	<p>3</p>	
			<p>基礎保健分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>		<p>3</p>	
			<p>保健人材育成分野のJICA海外協力隊</p>	<p>JOCV</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>		<p>3</p>	
<p>新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画</p>			<p>無償</p>	<p>2022年度以前</p>	<p>2023年度</p>	<p>2024年度</p>	<p>2025年度</p>	<p>2026年度</p>	<p>2027年度</p>	<p>4.30</p>	<p>3</p>		

開発課題 1-1 (小目標) 人間開発	教育・人材育成プログラム	新規初等教員養成及び現職教員研修システムの改善及び左記による人材育成強化、学校施設の増設を通じて教育の質の改善に重点的に取り組む。	ザンベジア州中学校建設計画	無償							22.83	4			
			新しい学校教育制度に対応したカリキュラム普及プロジェクト	技プロ								8.10	4		
			教育アドバイザー	個別専門家										4,8	
			国際公法分野の中核人材	国別研修										16	
			教育分野のJICA海外協力隊	JOCV										4	
			教育分野の課題別研修	課題別研修										4	
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償									0.70	4,5	
重点分野 2 (中目標)	経済成長・生産性向上・雇用の創出														
開発課題 2-1 (小目標) 農業開発	<p>【現状と課題】</p> <p>モザンビークでは、労働人口の80%が農業部門に従事しており、農村部における全農家の96%が小規模家族農家である。小規模農業従事者の多くは、低投入・低生産性の自給自足型農業を営んでいるため、農業収入は著しく低く、栄養状態が悪い。従って、小規模農業従事者の生産性の向上、市場へのアクセス向上及び栄養改善が重要である。また、現在輸入に依存している米の消費量が急増しており、国内生産量増加も急務となっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>開発課題に対して以下の取組を行う。</p> <p>(1) 農村部住民の生計向上：貧困削減及び食料安全保障の観点から、地方の小規模農業従事者をターゲットに、既存の農業技術普及体制の整備・強化、普及員の能力向上、農業従事者の組織化・体制強化、適切な営農方法・農業技術の指導・定着等の支援による農業生産量及び生産性の向上及び住民の生計向上・生活改善を目指す。</p> <p>(2) 農業・農村開発の行政能力向上支援：総合的なコミュニティ開発を目指し、中央及び地方レベルでの人材育成を行う。</p> <p>(3) 米増産支援：農業生産性向上支援の一環として、日本の比較優位性及び「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）」の活動に沿った稲作支援に取り組み、米の国内供給の増加を目指す。</p> <p>(4) 栄養改善：「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ（IFNA）」の下、マルチセクター・アプローチによる栄養改善を目指す。</p>									

	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考			
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度						
開発課題 2-1 (小目標) 農業開発		小農支援のための技術普及体制の整備、農業従事者の組織化、適切な農業技術の指導による農業生産性の向上、生計向上及び生活・栄養改善を行うとともに、農業・農村開発の行政能力向上支援を行う。また、CARDに沿って、米増産支援を行う。	ザンベジ州コメ生産性向上プロジェクト	技プロ	■							6.70	1,2			
			コメ振興アドバイザー	個別専門家		■	■	■	■	■				1,2	3年間	
			小規模灌漑アドバイザー	個別専門家										1,2	3年間	
			市場志向型都市近郊園芸栽培推進プロジェクト(MOZ-SHEP)	技プロ										1,2	2024年6月～2029年5月まで5年間の実施予定	
			栄養・食料安全保障アドバイザー	個別専門家		■	■	■	■	■				1,2		
			農業技術促進を通じた農村開発セミナー	国別研修		■	■	■						1,2		
			食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)	国別研修		■	■	■	■					1,2		
			農業分野のJICA海外協力隊	JOCV		■	■	■	■					1,2		
			農業分野の課題別研修	課題別研修他		■	■	■	■					1,2		
			農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償			■	■						0.10	1,2,6	
			農業デジタル化基盤構築	JBCA技協(農業)		■	■							1,2,8		
			農家グループリーダー等に対する人材育成 (Human resource development for farmer group leaders)	農水省技協		■								0.54	1,2,8	複数国対象案件のため累計額を記載
			本邦技術を活用した圃場整備モデル開発 (Small Smart Community Development)	農水省技協										1,2,8,9		

【現状と課題】

モザンビークにおいては豊富な天然資源を活かした成長の一方、それらを持続可能な形にするための経済インフラ整備、産業振興が喫緊の課題である。具体的には、ナカラ回廊及びマプト大都市圏におけるインフラ整備、主要産業である農業・漁業の振興及び地域経済の多角化が急務である。海外からの投資が進む一方で、国内人材の不足が深刻であると指摘されており、職業訓練を通じた人材の確保も重要である。また、開発に当たっては、民間資金を含めた資金確保に努める必要があり、そのための政府等関連機関の能力向上や人材育成等に加え、中小企業を中心とした民間セクター開発や投資環境整備も重要課題である。

また、ナカラ回廊のインフラ整備において、ナカラ港は、内陸国であるマラウイ、ザンビア等の外洋へのゲートウェイとして重要であり、内陸へと続く物流インフラとともに地域の連結性向上に不可欠である。

【開発課題への対応方針】

開発課題に対して以下の取組を行う。

(1) 中小企業を中心とした民間セクター開発及び日本企業の進出も視野に入れた投資環境改善のための、職業訓練を通じた人材育成

(2) 公共財政管理能力強化のための組織・制度強化及び人材育成

(3) ナカラ回廊及びマプト大都市圏を中心とした、電力、港湾、交通、物流等の経済・社会基盤整備及び関連人材育成

上記方針を通じ、持続可能な開発目標4（教育）、7（エネルギー）、8（経済成長と雇用）、9（インフラ、産業化、イノベーション）、17（実施手段）等の達成に貢献する。

開発課題 2-2
(小目標)
産業開発

協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度				
産業振興プログラム	産業開発を進めるため、民間セクターを活性化・活用すべく、中小企業支援や投資環境整備を促進する。さらに、産業開発及び経済開発の根幹となる公共財政管理にかかる組織強化、制度改善、人材育成を行う。	職業訓練センター改善計画	無償	■						8.80	8		
		一村一品・カイゼンを通じた地場産業振興プロジェクト	技プロ	■	■	■	■	■		6.10	1,4,8,9		
		資源分野の人材育成プログラム(資源の絆)	国別研修	■	■	■	■					9	
		零細漁業開発に向けた水産バリューチェーン強化プロジェクト	開発計画		■	■	■	■		2.69	9,15		
		アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターシッピングプログラム」	国別研修	■	■	■	■					9	
		SDGsグローバルリーダー(アフリカ地域)	国別研修	■	■	■	■					9	
		鉱物資源の持続的な開発のための能力強化	国別研修	■	■							12	
		産業分野の課題別研修	課題別研修他	■	■							9	
		産業振興分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■					9	
		国際漁業振興協力事業(水産関連施設の修理修復及び技術移転)(Facility Improvement Project for Fisheries Development)	農林水産省技協	■	■							9,10,12,14	
電力・経済インフラプログラム	地域経済活性化に資する重要な港湾、道路・橋梁、電力インフラの整備を進める。回廊開発の視点を通じ、モザンビーク国内にとどまらず、南部アフリカ域内の連結性向上に資する経済開発・産業振興の観点を踏まえた支援を実施する。	ナカラ港開発計画事業(Ⅱ)	有償	■	■	■				292.35	9		
		マンディンバ・リシガ間道路改善計画	有償	■	■					67.73	9	AfDBとの協調融資	
		橋梁維持管理能力強化プロジェクト	技プロ	■	■	■				4.50	9,13		
		マプト市都市公共交通改善支援プロジェクト	技プロ	■	■	■					9,13		
		マプト・ガス複合式火力発電所整備計画	有償	■	■	■	■	■		172.60	7		
		ナカラ緊急発電所整備計画	無償	■	■	■	■			40.84	7		
		配電損失改善プロジェクト	技プロ	■	■					4.50	7		
都市化問題対策	第三国研修		■	■	■	■				7			

		インフラ整備分野の課題別研修	課題別研修他								9				
		経済社会開発計画	無償							30.00	9				
重点分野3 (中目標)	天然資源・自然環境の持続可能な利用														
開発課題3-1 (小目標) 水・環境・気候変動対策	【現状と課題】 人間の生活に欠かせない安全な水へのアクセスは、地方部を中心にいまだに困難な状況にあり、それらの地域に対する給水施設及び衛生状態の改善が喫緊の課題である。 また、環境・気候変動対策も横断的な課題の一つとして重要視されており、温室効果ガス排出削減と経済成長を両立させるとともに、深刻化する違法伐採、密輸被害に対処するための森林資源の保全対策が必要である。また、都市部においては、環境汚染が都市機能低下の原因ともなり、ごみ処理を始めて環境対策を強化することが重要である。2019年のサイクロン・イダイの被災からの円滑な復興事業の促進及び、都市化によって引き起こされる水害への対応策の強化を通じ、より災害に強い社会を形成する必要がある。						【開発課題への対応方針】 開発課題に対して以下の取り組みを行う。 (1) 安全な水の供給及び衛生施設の普及及び施設運営維持管理能力強化 (2) 森林管理能力の向上に資する森林保全技術移転、機材の整備 (3) 廃棄物管理等の都市部を中心とした環境対策の強化及び廃棄物管理人材の育成 (4) サイクロンイダイの被災からの復興及びマプト首都圏を中心とした水害対策を通じて、より災害に強い社会を形成 上記方針を通じ、持続可能な開発目標4(教育)、6(水・衛生)、9(インフラ・産業化・イノベーション)、11(持続可能な都市)、13(気候変動)、15(陸上資源)等の達成に貢献する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
	水・衛生プログラム	給水率の低い地域を中心に、安全な水の供給及び衛生施設の普及を目指し、コミュニティ住民の維持管理能力の強化・衛生習慣の定着を支援する(給水施設の建設や改修も含む)	ニアッサ州持続的給水システム及び衛生促進プロジェクト	技プロ								7.30	6		
			ニアッサ州地方給水施設建設計画	無償									6		
			給水・衛生分野の課題別研修	課題別研修										6	
			水衛生分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO									2.90	2,3,6	
			水分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償									0.10	6	
	環境・気候変動対策プログラム	森林資源の保全のための機材整備・保全技術移転、森林減少・劣化の抑制による温室効果ガス排出削減(REDD+)モニタリング体制の構築支援を行うとともに、廃棄物処理等、都市部を中心とした環境対策の強化にかかる取り組みを行う。 2019年サイクロン・イダイの被災からの復興を通じて、より災害に強い社会を形成する。	マプト大都市圏総合的廃棄物管理能力向上プロジェクト	技プロ								3.70	11		
			アフリカのきれいな街のための中核人材育成	国別研修										11	
			森林・気候変動対策アドバイザー	個別専門家										13	
			持続可能な森林管理・REDD+プロジェクト	技プロ									4.80	13,15	
			サイクロン・イダイ被災地域強化プロジェクト	開発計画									7.37	9,11,13	
			マプト首都圏強化に向けた包括的水害対策マスタープラン策定プロジェクト	開発計画										9,11,14	
			環境・防災・気候変動分野の課題別研修	課題別研修他										11,13	
			持続可能な土地・水資源管理プロジェクト	マルチ									120万USD	11,13,15	気候投資基金(CIF)、AIDB経由
環境・防災・気候変動分野のJICA海外協力隊			JOCV										11,13		
モザンビークにおける森林ガバナンスの改善			マルチ									32万USD	12, 13, 15	農林水産省国際熱帯木材機関(ITTO)提出事業	

重点分野4 (中目標)	平和構築・治安対策													
開発課題4-1 (小目標) 平和構築	【現状と課題】 経済・社会が持続可能な形で発展するためには治安の安定が不可欠である。モザンビーク北部では、2017年以降の武装集団の襲撃により治安が悪化し、地域住民の多くが元の住居を追われ、避難を余儀なくされている状態が継続している。同国中北部は開発上の課題を多く抱えているものの、治安を理由に十分な支援が行き渡っておらず、治安改善及び地域住民への人道支援が急務である。アフリカ最大の官民投資案件であり、我が国のエネルギー安全保障上重要なLNGプロジェクトの再開に向けても、継続的な支援の必要性は非常に高い。					【開発課題への対応方針】 (1) 国内避難民への人道支援 (2) 武装集団のリクルート対象となる若者への就業支援 (3) 治安改善のための体制強化 上記方針を通じ、持続可能な開発目標2(飢餓)、16(平和)等の達成に貢献する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	平和構築・治安対策 スプログラム	平和構築・治安対策に資する人材育成、人道支援、就業支援等を実施する。	カーボデルガード州における国内避難民等への人道・開発支援	マルチ	2022年度以前	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	4.9百万USD	2,3,16	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国際赤十字赤新月社連盟 (IFRC)、赤十字国際委員会 (ICRC)、国連女性機関 (UN Women)、国連人口基金 (UNFPA)	
			カーボデルガード州における国内避難民等への人道・開発支援	マルチ							7.6百万USD	2,3,16	国連児童基金 (UNICEF)、国連総合開発科学文化機関 (UNESCO)、世界食糧計画 (WFP)、国連開発計画 (UNDP)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国連女性機関 (UN WOMEN)	
			カーボデルガード州の安定化のためのインフラ復旧計画 (UNDP連携)	無償								13.28	3,4,6,9,16	国連開発計画 (UNDP)
			食糧援助 (WFP連携)	食糧援助								3.00	2,16	世界食糧計画 (WFP)
			グローバルな食料安全保障への対応のための緊急無償資金協力	無償								1.5百万USD	2,16	世界食糧計画 (WFP)
			経済社会開発計画	無償								2.00	16	海難救助関連機材
			経済社会開発計画	無償								5.00	2,3,16	給水関連機材
			経済社会開発計画	無償								8.60	16	海上保安機材
経済社会開発計画			無償								3.00	8	水産関連機材	
経済社会開発計画			無償								5.00	16	国境管理・密輸対策関連機材	
その他 (個別重点課題)	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	その他個別の案件		青少年育成(スポーツ、交通安全)、社会的弱者支援のJICA海外協力隊	JOCV	2022年度以前	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度		3		

凡例) 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(「個別機材」)、「個別研修」(「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(「第三国研修」)、「現地国内研修」)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス (SDGsビジネス) 調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力をスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf